



# 大阪の治水

安全で安心して暮らせるまちを目指し、水害からまちを守るための様々な対策に取り組んでいます。大阪市の西部では台風時の高潮被害に、東部では大雨時の浸水被害に備えた治水対策を実施しています。

## 西大阪地域高潮対策

西大阪地域では防潮水門、防潮鉄扉や防潮堤が整備され、過去最大の台風(伊勢湾台風)による高潮に十分対処できる高潮対策を府市協調して実施しています。



■防潮水門のイメージ  
資料提供：大阪府

あんぜん・あんしんの川づくり

■安治川水門の操作  
資料提供：大阪府



## 平野川・平野川分水路改修 【寝屋川流域総合治水対策】

狭小で蛇行した河道形状を修正するため、川幅の拡幅や河積の拡大等の河川改修を行い、川の流れをスムーズにすると共に、護岸・橋梁の嵩上げを実施し、治水安全度の向上を図っています。



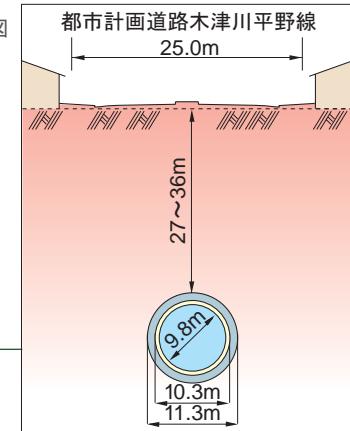
■整備方法(ゴライアスクレーン)

- 出水期にも継続して施工が可能であること
- 桟橋などの仮設物により河積を阻害しないこと
- 工事に伴う振動、騒音等の工事公害を極力抑制することを目的として採用された門型クレーンです。

護岸沿いに設けたレール上を門型クレーンが矢板等を打設しながら移動します。



■標準断面図



## 平野川調節池 【寝屋川流域総合治水対策】

平野川調節池は、大阪市東南部の浸水被害を解消するため、幹線道路の地下に雨水を一時的に貯留するトンネル(直径約10m)です。現在は約36万m<sup>3</sup>の雨水を貯めることができ、将来的には木津川まで延びる地下河川の一部となる予定です。



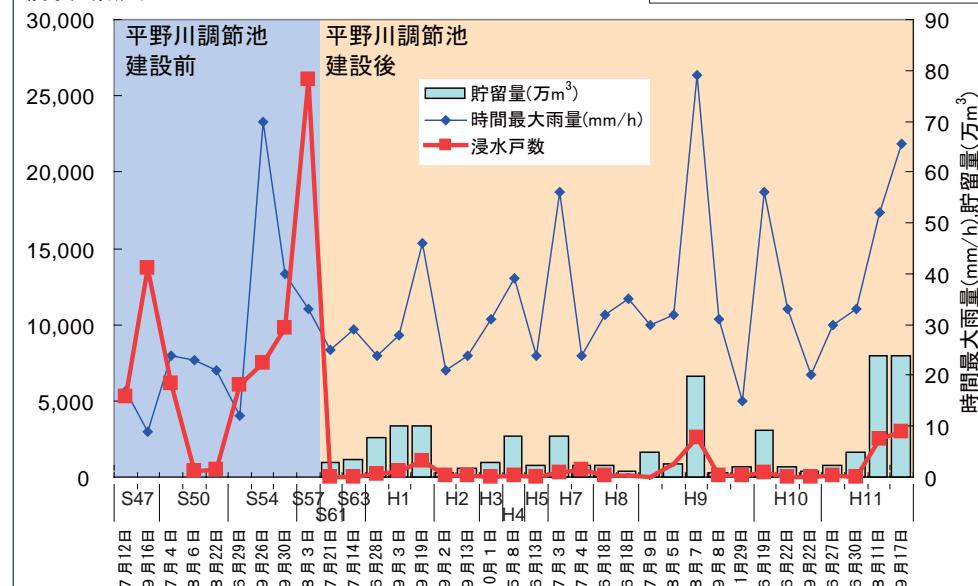
■完成写真



■平野川調節池における貯留状況

■浸水戸数の推移(大阪市東南部)

浸水戸数(戸)



■平野川調節池概要図

## 寝屋川流域総合治水対策

大阪市の東部を含む寝屋川流域では、急速に市街化が進んだことにより、流域の保水・遊水機能が低下し、度重なる浸水被害を繰り返すようになっていました。そこで、国・府・関係市町村による協力の下、寝屋川流域総合治水対策を策定し、浸水被害軽減を図っています。

総合治水対策とは、川や下水道の整備を進めるとともに、雨水を一時的に貯めるなどにより、一挙に下水道や川に流出しないようにするなど、流域全体で実施される治水対策です。